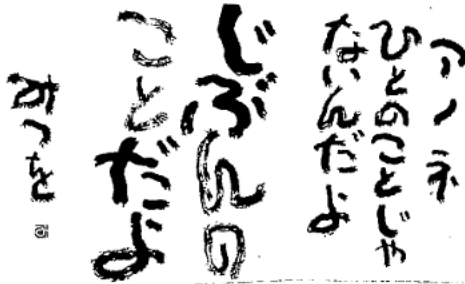


さくら第454号

平成29年10月

# さくら

発行所 さくらそらばん  
 発行者 平瀬重雄  
 春江町境 17-7:TEL51-1337  
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



## 『早めの予定と行動を』

ふだんの授業が終わり帰る人に、「家まで歩いてどれくらい時間がかかるの？」と聞くことがあります。すると「分かりません」と答える人がよくいます。そこで「1時間はかかるの？」と問えば首を左右に振るだけ。

「それじゃ、1分で家に着くの？」と言えばまた首を左右に振るだけです。声が出ない病気になるのかと言いながら、30分かかかるのか、20分か、15分か10分か聞いていくうちに小さな声で5分くらいですとようやく言います。

電車の時刻表みたいに何分何秒とは言わないけれど、だいたいどのくらい時間がかかるのか考えましようと話します。

こんなこともよくあります。「先生、今日はいつもとより早く返してください」と出席手帳を出しながら言うので、少しだけ早く帰ればいいのかなら1分くらいでいいね。と言えればもう少し早く帰りたいと言う。1分ではダメか。それじゃ3分にしようかなどと話します。

[お母さんから〇〇時には家で待ってなさいと言われた]とのこと。そこで先ほどの会話になったしだいです。

3級以上の検定試験会場は、福井商工会議所、福井県珠算会館、春江町商工会館と3か所あります。初めて受ける人には会場への地図や口頭でもよく話し、塾の玄関の掲示板などにも貼ってありますが、見ない人がいます。

前日になって、明日の試験はどこへ行けばいいのですか、何時から始まるのかとよく質問

されます。受験票に場所も時間も書いてあるから今すぐ確かめてください。と言うのですが、持っていません、家にありますと言われ力が抜けてしまうことがけっこうあります。

春江町商工会館での受験後、家から迎えに来る車をじっと待っている人に、ここから家まで歩いて5分もかからないから帰ったらと言え、どうやって帰ればいいのか分かりませんと言う。いつも車での送迎だから車中、いねむりしたりぼんやりして、会場までの目印になるような建物やカンバンなどを見て、今どこを走っているか把握しないことも原因の一つでしょう。

カーナビは行き先までの地図を頭に入れてなくても、何も考えなくても目的地へ案内してくれます。楽で便利ですが、地図を見る習慣がなくなり方向感覚が衰えます。

私は、初めて行く場所のときは、100mほど歩くと後ろを振り返り、目印になるような建物やカンバン、交差点の周りの様子などを確認しながら歩きます。そうすれば、帰り道でも前もって確認した景色を思い出すので安心します。

便利な世の中ですが、何事も自分の頭で予測し考え、行動することが大事です。そのためには日々のささいなことがらにも疑問と好奇心をもち自分で考える習慣を身につけましよう。

ところで、検定試験について思う事があります。申し込みは検定日の約一か月前にはしめきれられます。受けるかどうかを聞くと、「その日に行けるかどうかまだ分かりません」とよく言われます。すでに予定が入っているのかと問えば「ありません、でも何かあるかも知れない」。これでは予定が立ちません。

試験の三日前に用事があるので受けられませんから、受験料を返してほしいと言われても困ります。受験料は申し込み締め切り日までに私のほうでまとめて協会事務局へおさめています。計画を立てそれをクリアするためにはいつまでに何をせねばならぬかを考え、行動する習慣が必要です。早めの対応ができるよう日ごろから予定と行動をすすめましよう。